

コロナ禍における救急活動



【過去3年間の救急出動件数について】

厚岸消防署では、過去3年間（令和元年から令和3年）で1,286件の救急出動がありました。1日の出動で最も多い日は6件で、出動が無い日もありました。

また、119番通報から救急車が現場到着するまで平均7分かかっています。

新型コロナウイルス感染症の人や疑いの人を搬送した件数は、令和4年4月末現在で18件です。

救急要請・通報から帰署のながれ

119番通報

火災か救急要請を聴取。

場所・氏名・生年月日・年齢・意識状態・既往歴・現病歴などをお聞きします。

新型コロナウイルス感染症対策のため、救急車要請時には発熱や呼吸器症状があるか、家族や周囲の人が新型コロナウイルス感染症に感染しているかお聞きしています。聴取に時間はかかりますが、既に救急隊は出動し、救急隊員に随時、傷病者の詳しい情報を伝えていきますので、ご安心ください。

救急隊員準備・出動

救急要請が確認できた時点で救急隊員は『感染防止衣』に着替え、出動します。出動後、詳しい情報を救急隊員に伝達しています。



救急隊員は、感染を防ぐため、感染防止衣や目を守るためのゴーグルとヘルメットを着用し、全ての救急事案に対して万全の体制で出動します。



現場到着・傷病者観察

現場や救急車内で傷病者を観察。血圧測定・血中酸素飽和度・心電図測定・体温測定などを行い、観察します。



病院へ連絡

傷病者の観察結果に基づき搬送先病院を選定。病院に受け入れ要請をします。

出発・病院到着

搬送中も傷病者の観察を継続し、病院到着後、医師に引き継ぎます。



帰署後

次の出動に備え、感染防止衣や使用した救急資機材の消毒を毎回実施しています。

